

水やりみず

野菜を育てるのに
水やりはとても大切です。
みんなで協力しましょう！



ところで、
なぜ水が必要なのでしょう？
水は、どのようにあげれば
よいでしょうか？

種たね植うえ

いよいよ栽培が始まります。
こんなに小さな種から
あんなに大きな大根が
育つなんて、不思議！



種の植え方は
覚えていますか？
おさらいしましょう。

双葉ふた

芽が出てきました！
ハートのような形をしています。
でも田辺大根の葉の形とは、
だいぶちがう感じ・・・？



ところで、
双葉には大事な役目があります。
それは何でしょう？

追おい種たね

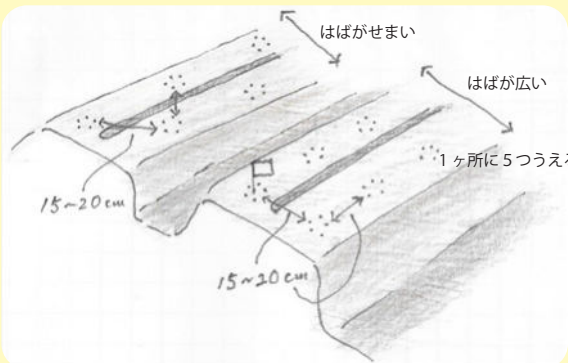
一週間たって一つも芽がでな
かったらどうしましょう？
大丈夫です。焦らずにもう一度
植えてみましょう。



ただし、追い種ができるのは
これがラストチャンス！？
それはなぜでしょう？

種植えのポイントは、ちゃんと芽がでる植え方となるべく多く大根を収穫できるよう工夫すること、その2点です。

下の2つの畝（うね）では、種（たね）のうえ方がちがいます。どこが、なぜ違いますか？



●ちゃんと芽が出るために

- ① 種をなぜ5つ植えますか？
- ② 種を植える穴の深さは？
- ③ 水はあげましたか？

●大根を多く収穫するために

- ① 植える場所の間隔は？
- ② 予備の種はなぜ植えるの？



●畝は何のためにあるの？

- ① 水はけがよくなります。
 - ② 大根の根が伸びやすい。
 - ③ 栽培作業がしやすくなります。
- その他にもあるかな？

●どこに植えましょう？

- ① 最初に植えた5カ所のうち、芽がでなかった場所。
- ② 畝の中で芽がでていない、空いている場所に植えて、予備の大根を育てましょう。



●調べてみよう。

野菜の種はまく時期（季節）が決まっています。秋に種をまく大根などは、発芽が1日遅れると収穫が1週間遅れると言われています。それは、なぜでしょうか？

根が土の中に着くことを根を張るといいます。芽が出始めたときの根は細くて土から抜けそうです。



そこで、根元に土を集めて根を守ることを土寄せといっています。

●土よせのポイント

畝と畝の間の土をスコップでこすり取って、双葉の根元に集め、上から指でそっと押さえてあげよう。大根の根が大きくなってきたら、倒れる心配もあります。土寄せは繰り返します。

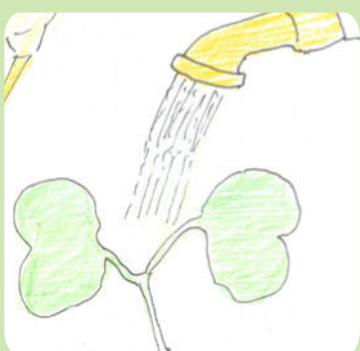


●調べてみよう

「根を張る」と同じように、「根」を使った言葉は、「根付く」「根強い」の他にどんな言葉を知っていますか？

双葉には、赤ちゃんにとつてのミルクのような役割があります。

根が育って、本葉が出てくるまでの栄養分です。



双葉は栄養満点。間引いた双葉は食べてくださいね。

●双葉と本葉

双葉と、双葉の次に出てくる本葉は形がどのように違うか観察してみよう。双葉は役割を終えると自然に枯れてしまします。それまで大切にしましょう。

●調べてみよう？

大根の双葉はお野菜としてお店でも売っています。「かいわれ大根」とよばれています。が、なぜ？



肥料^{ひりょう}

大根^{だいこん}が育^{そだ}つために必要^{ひつよう}なものは水^{みず}、光^{ひかり}、そして栄^{えい}養^{よう}です。人も健康^{けんこう}に育^{そだ}つためには栄^{えい}養^{よう}のバラン^{たいせつ}スが大切^{たいせつ}です。



ところで、
長池^{ながいけ}小学校^{しょうがっこう}で使^{つか}っている肥料^{ひりょう}は
何^{なに}からできているでしょうか？

土寄^{つちよ}せ

大根^{だいこん}はどのようにして立^たっているのでしょうか？
そう、土^{つち}の中に根^ねを張^はって立^たっています。



大根^{だいこん}は土^{つち}から一旦^{いったん}抜^ぬいてしま^{しま}うと土^{つち}の中^{なか}に戻^{もど}しても枯^かれてしま^{しま}います。
抜^ぬかないよう注^{ちゅう}意^いしまし^しよう。

間引^{まび}き

5つ植^うえた種^{たね}から、芽^ではいくつ出^でましたか？
葉^はがだんだん^{だんだん}と大^{おお}きく育^{そだ}って窮^{きゆう}屈^{くつ}にな^なってま^ませんか。



ところで、
なぜ間引^{まび}きをするのでし^しよう？
間引^{まび}きをしな^しかつたら、どうな^なるのでし^しよう？

虫取^{むしと}り

長池^{ながいけ}小学校^{しょうがっこう}の大根^{だいこん}の葉^はは無^む農^{のう}薬^{やく}で栄^{えい}養^{よう}満^{まん}点^{てん}だから、お^おい^いし^しい^いこ^ことを虫^{むし}たちも知^しって^てい^いて、毎^{まい}年^{ねん}必^{かなら}ず^ずや^やつて^てき^きま^ます。



ち^ちよ^よう^うや^や蛾^がが飛^とんで^でい^いたら^ら葉^はに卵^おを産^うみ付^つけて^てい^いま^ます^すよ。
虫^{たね}をそ^その^のま^まま^まに^にし^して^てい^いる^ると大根^{だいこん}はど^どう^うなる^る？！

根が土の中に着くことを根を張るといいます。芽が出始めたときの根は細くて土から抜けそうです。



そこで、根元に土を集めて根を守ることを土寄せといいます。

●土寄せのポイント

畝と畝の間の土をスコップでこすり、双葉の根元に集め、上から指でそつと押さえてあげよう。大根の根が大きくなってきたら、は倒れる心配もあります。土寄せは繰り返しておこないましょう。

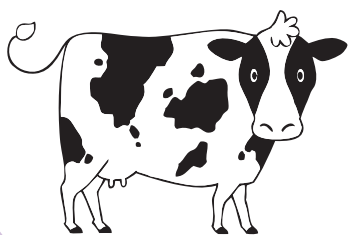


●調べてみよう

「根を張る」と同じように、「根」を使った言葉は、「根付く」「根強い」の他にどんな言葉を知っていますか？

大根が育つために必要な栄養分は土の中にもあります

が、不足分を補い、より効率的に栄養を与えるために肥料をつかいます。



ところで、どんな栄養分が必要なの？

●調べてみよう

牛糞の肥料にはどんな栄養が含まれているのでしょうか？なぜ、牛糞を使っているのかな？

●ワンポイントアドバイス

肥料は、根元から少し離して、土の上にまきましよう。



●作物に必要な栄養分とは

三大栄養はチッソ、カリウム、リンです。そして、カルシウム、マグネシウム、鉄、また、ホウ素、硫黄、銅、亜鉛、マンガンをはじめ、様々な栄養をバランスよく与えることが大切です。

虫は葉や茎を食べます。

葉が無くなると光合成ができなくなります。

新芽や茎を食べられると、大根は育ちません。

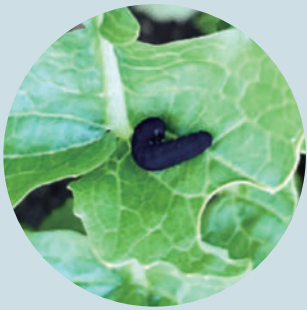
虫を土の上に落としただけでは、また戻ってきます。

必ずつぶしましょう。



●書虫写真当てクイズ

- ①シンクイムシは新芽が大好物。葉の根元に隠れているので、つまようじでほじくり出そう。
- ②カブラハバチの幼虫は真っ黒。土の上に落ちて隠れるので、よく見て拾い出そう。
- ③アブラムシはセロテープなどでとりのぞきましょう。
- ④青虫は蛾や蝶の幼虫。指先でつまんで足でつぶしましょう。



●長池小学校の間引き

- ①本葉が出たところに3〜4本を残して間引きします。
- ②その2週間後に2〜3本を残して間引きします。
- ③十月中頃には1本にします。

5つまいた種のうち、発芽した中から少しずつ間引いて、最後は一本の大根を収穫します。

残す大根と一緒に抜けないように指で押さえて、間引く茎をゆっくり引き抜くのがコツ。



●どの芽を間引けばよい？

- ①他と比べて葉が小さい。
 - ②茎が細くて長い。
 - ③葉が枯れている。
- 青々と元気な株を残します。

